

2025 年 9 月 10 日

調査報告書

X(旧 Twitter)上でのアムールヒョウへの臭気物質提示に関する投稿の調査結果について

福山市立動物園
動物倫理福祉委員会

1. 背景

2025 年 9 月 7 日 19 時 40 分、SNS (X, 旧 Twitter) 上において、当園のアムールヒョウへの臭気物質提示に関する内容で投稿された件に対し、「虐待ではないか」との意見を含む投稿が拡散されました。当該投稿により来園者や市民の皆様にご心配をおかけし、疑義が生じていることから、2023 年に園内に設置された獣医師及び動物行動学を専門とする職員を含めた動物倫理福祉委員会が事実関係を精査いたしましたので、結果を報告いたします。

2. 調査内容

明らかな誹謗中傷を除いた疑義となる投稿内容、またメール等で直接ご連絡いただいたご意見に関して、以下の内容を調査いたしました。

- a. 動画撮影時までの当該投稿で指摘された動物の飼育及び健康状況について
飼育日誌・給餌記録・その他飼育状況に関する記録を確認
- b. 委員による SNS へ投稿した飼育職員及び獣医師への聞き取り調査
- c. 動画撮影時の状況確認に関する現場への立入調査
- d. 動画内での当該個体の行動確認
- e. 臭気物質提示後（動画撮影後）の当該個体の健康確認

3. 調査結果

- a. 飼育環境は、当園が定める動物倫理福祉規程の基準を満たしており、飼育日誌・給餌記録・その他飼育状況に関する記録において異常は認められませんでした。
- b. 本委員会が定めたエンリッチメント安全チェックリスト（別紙 1）に照らし合わせ、獣医師が確認の上で行っていること、また以下の点について確認いたしました。
 - ・臭気物質の提示は、嗅覚エンリッチメントとして探查行動および行動レパートリーの増加を目的に予備段階として実施されたこと
 - ・海外および国内の動物園において使用事例があり、IUCN Cat specialist Group に

よるニュースレターを始めとした使用の根拠となる文献等の提示があったこと

(https://www.researchgate.net/publication/268577934_The_use_of_commercial_perfumes_for_studying_jaguars)

・ イエネコにおける精油の経皮吸収、消化管吸収による危険性を示唆する文献を把握した上で、今回の使用方法ではその危険性が極めて低く、獣医師が無害であると判断したこと

- ・ 提示された臭気物質の主成分がシベトンとされること
- ・ 使用量は 0.07ml 程度であること
- ・ 当該個体に対して臭気物質の噴射は行われていないこと

- c. 投稿者の飼育対応について不適切な行為や虐待と見なされる行為は認められませんでした。また、動画撮影時、獣医師がその場にいたことを確認いたしました。
- d. 飼育員が網越しに臭気物質を散布したレンガを提示後、当該個体自ら近寄るが、レンガの近くに顔をもってきたにも関わらず、全く違うところを嗅いでおり判別している行動が見られないことから、臭気の拡散が極めて弱いと判断しました。その後、当該個体は何度も臭気が散布された部位を嗅ぐ行動が確認でき、臭気を認知するために時間を要している、もしくは容認できる臭気である行動を発現している（嫌悪する臭気ならば逃避行動を発現も可能）と判断いたしました。その後、「シャー」という威嚇様行動がフレイメンであるか嫌悪する行動であるかの判断は本動画からは難しく、臭気物質が付着した部位を当該個体自ら再度嗅ぎ始めたことから、臭気が嫌悪刺激になっていないと判断いたしました。

補足として、当該個体は提示されたものから逃避できる状況にあったことを確認しております。

- e. 臭気物質提示後の食欲及び行動ともに良好であることを確認しました。また、当該個体はトレーニングにより無麻酔採血が可能であったことから、本委員会の要請により採血を実施した結果、これまでの血液検査の結果と比較し、肝数値、腎数値をはじめとした各項目において異常が認められなかったことを確認いたしました。

4. 結論

動物倫理福祉委員会による総合的な調査の結果、当該 SNS 投稿に対してご指摘いただいた「動物虐待」と判断される事象は確認されませんでした。当園では、本委員会主導のもと、当該個体を含めた定期的な動物福祉チェックを実施するとともに、引き続き動物福祉を重視し、科学的知見に基づいた飼育・展示管理を行っていきけるよう尽力してまいります。

5. その他、今後の対応

- ・ 調査結果を公式ホームページにて公表し、来園者・市民の皆様に安心していただける

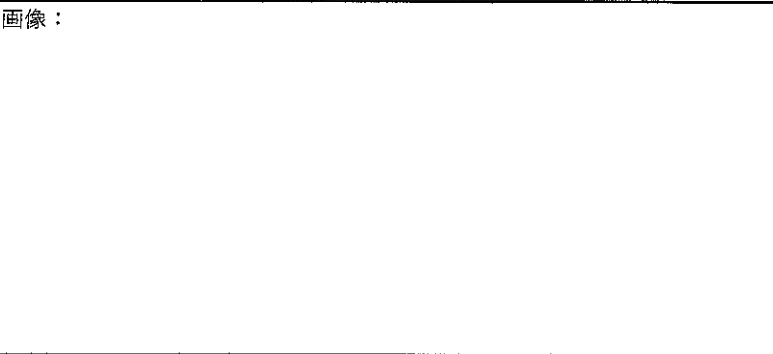
よう努めてまいります。

- 当園における SNS 投稿時には、投稿者以外の複数名による事前チェックを行っており、一部の委員から「今回の投稿において説明が不十分」であったことが指摘されており、誤解を招かぬように投稿者及びチェック担当者に対して、より丁寧かつ誤解を与えないような投稿となるよう指導しております。
- 今後、必要に応じて外部研究者による動物福祉チェックも予定しております。
- なお、本件は福山市動物愛護センターに連絡済みです。

環境エンリッチメント作成実施記録

名称：ネコ科猛獣への香水を用いた嗅覚エンリッチメント

作成者・日時 2025/09/04



目的：匂い刺激による探査行動などを引き出す。退屈しのぎや、ペアリング時の行動バリエーションの増加を期待。

使用素材：香水（ ）

使用方法：吹き付けたレンガの掲示、放飼場の枝、石などへの吹き付け

特記事項： 使用香水は、 Zooでの検証報告や、IUCNのレターなど他動物園でのネコ科動物への使用報告・論文等あり。
嫌がるそぶり（忌避行動、掲示による常同行動等）がみられた個体には、エンリッチメントとして使用しない。

事前チェックリスト

安全・管理 リスク		チェック		ポイント	具体例
		飼育担当	獣医師または班長		
破損	該当なし	☒	☒	ロープやポルトの緩みはないか？	不適切な結び方、留め具、
	該当なし	☒	☒	素材の強度は十分か？	耐久荷重を超えた負荷、
	該当なし	☒	☒	動物が装置を用いて飼育施設を破損	動かす、振り回すことによる壁やガラス、金
	該当なし	☒	☒	動物が装置を破損する可能性はない	踏みつけによる破損・破損した場合に鋭利な
傷害	該当なし	☒	☒	バリ取りは行われているか？	鋭利な角、ささくれ、
	該当なし	☒	☒	針金等の先端は処理されているか？	動物に向けた鋭利な先端、
	該当なし	☒	☒	拘束（絡まる・挟まる）する危険は	角や翼、足が装置（ネットなど）に絡む、開
	該当なし	☒	☒	誤飲しそうな部分はないか？	破損時の断片、留め具など、
衛生	可能	☒	☒	洗浄・消毒が可能か？	糞尿が付着しやすい構造・素材、
	なし	☒	☒	感染症を引き起こす危険はないか？	他種や同種間での共有、不十分な消毒・滅菌
摂餌	なし	※1	☒	毒性（自然・人工由来）はないか？	有毒植物、有毒ガス、健康を損ねる素材、
	なし	☒	☒	給餌量や消化の問題はないか？	過剰量・品目・サイズなど、
行動				対象種・対象個体の行動や体格に一	
	なし	☒	☒	致しているか？	関節や筋肉などに過度な負荷、
逃亡	なし	☒	☒	逃亡・脱出の危険はないか？	手がかり・足がかり・電柵の破損など、
社会性	なし	☒	☒	一部の個体が独占しないか？	取り合いによる闘争、
心理	なし	☒	☒	極度の恐怖を与えないか？	馴化なしでの極端な刺激、
来園者	なし	☒	☒	来園者に害を及ぼさないか？	不適切な設置方法・場所による投げつけ等の物理的、飛散等の衛生的な害、
緊急時	可能	☒	☒	緊急時に素早く撤去することができ	撤去方法の検討不足、
エンリッチメントの効果					
行動	匂い探査	☒	☒	動物種本来の行動に根差している	対象動物がもつ習性や行動、性質にあったも
来園者	匂い探査	☒	☒	来園者に対して動物本来の姿を伝えることに寄与するか？	景観との組合せ、表出する行動があまりに入

※1; 主成分はシベトンか。同香水の動物園での使用事例報告は多いが、健康被害報告見当たらない。
イエネコにおける精油の経皮吸収、消化管吸収による危険性を示唆する記事はある。精油は純度が高く香水とは組成が異なる（精油；純度の高い植物由来抽出物、香水；人工もしくは天然香料をアルコール等で希釈）、香水の環境の一部への吹き付けとしての使用では経皮・消化管吸収量はほぼないと推察され、安全上問題ないとする。（舐めなどとしても1吹き付け0.07ml程度？）。念のため、使用中・後の個体の様子観察。